

## 新事務局長あいさつ

新しい時代の  
有機農業運動づくりをめざして  
若い力に引き継げるよう  
がんばります！

特定非営利活動法人  
全国有機農業推進協議会  
新事務局長 下山久信



立秋とは名ばかりの厳しい暑さが続いておりますが、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。今年は地球温暖化の影響により、ゲリラ豪雨、竜巻等、農業生産がやりにくくなっています。

6月15日の第7回通常総会で事務局長として選任されました。本来はもっと若い人が引き受けてくれた方が良いと思います。来年の任期まで微力ですが全力を投入して頑張っていきます。

今は日本の農業は TPP 交渉進展の中で、この3年間の勝負の分かれ目です。

政府の産業競争力会議に農業分科会が設置され、農地問題が色々と議論されています。また政府の規制改革会議でも農地集積バンクを議論の対象に正式に決定され、意見交換が開始されました。

折しも有機農業の推進に関する基本的な方針の策定に向けての小委員会が8月21日設置されました。

日本農業の再生に向けて、有機農業が一定の役割を果たすために、全有協の責任は重大です。組織をあげて方向性と方針を指し示す時です。

## ●今年も開催！有機農業全国交流集会。今回の開催地はさんぶです！

今回は日本の“農”の今と未来、有機農業への新規参入について、これまで千葉県山武市地域全体で面的に有機農業に取り組み過去5年間で18件の新規就農を受け入れてきた「さんぶ野菜ネットワーク」の取り組みを軸にして考えていきます。

今年のテーマは、“有機農業への新規参入”です。有機農業への関心はますます高まり、生産者になろうと志す人も年々増えています。新規参入にチャレンジする人たちを迎え入れるには、どうしたらよいのか？仲間づくりは？その課題と展望は？11月21日(木)、22日(金)地域に広げる有機農業全国交流集会にぜひご参加ください。

## ●パタゴニア大崎店に全有協が登場！

アウトドア用品を扱うパタゴニアによる、環境問題に取り組む団体への助成金プロジェクト”ボイス・ユア・チョイス”に、全有協が選ばれました。パタゴニア各ストアで2団体ずつが選ばれ、9/5~10/2まで展示と投票が行われます。パタゴニア製品を買っても買わなくても投票ができます。

有機農業全国交流集会も紹介させていただいています。facebookでも紹介されていますので、ぜひ訪れてみてください。

【全有協の紹介】 <http://voiceyourchoice.jp/shop/oosaki/zenyukyo.html>



# 地域に広げる有機農業全国交流集会

【開催】 2013年11月21日・22日

千葉県山武市“さんぶモデル”徹底解析  
全国の事例交流、日本農業再生のための課題討論

## 地域の課題を持ち寄ろう!

第二回 参加者募集!

### 地域に広げる有機農業全国交流集会

今年のテーマは、「有機農業への新規参入」です。  
有機農業への関心はますます高まり、生産者になろうと志す人も年々増えています。新規参入にチャレンジする人々を応援するには、どうしたらよいか? 仲間づくりは? その課題と解決は?

今回は日本の「食」の今と未来、有機農業への新規参入について、これまで地域全体で面的に有機農業に取り組み、過去5年間で18件の新規就農を成し遂げた「さんぶ野菜ネットワーク」の取り組みを軸として考えていきます。  
全有協の「地域にひろげる有機農業全国交流集会」にぜひご参加ください!

日時	会場
2013年11月21日(木) ~ 22日(金) 1泊2日	千葉県山武市 さんぶの森中央会館 さんぶの森文化ホール
定員 100名 先着順 締切 (一) 10月31日 (二) 11月15日	集合 JR総武線八街駅北口

チラシを  
ウェブから  
配信中!

**11月21日(木)** 1日目 3班に分かれ見学と意見交換会  
13:00 八街駅北口(市役所側)集合 バス乗車  
13:00~14:30 見学・1~3班に分かれて実施(バス3台)  
・1班 研修生受入れ農家「有機農家を増やすしくみ」  
・2班 新規就農者「有機農家をやりたい人集まれ」  
・3班 大規模有機野菜農家  
15:00~17:30 さんぶの森中央会館  
分科会: 1班 ホール 2班 視聴覚室 3班 中研修室  
移動・宿泊先 蓮沼・浪川荘  
(0475-86-2259 山武市蓮沼二の4665)  
18:30~20:30 懇親会

**11月22日(金)** 2日目 全国の各地取組報告、課題検討  
08:00 浪川荘出発  
09:00~09:30 報告 日本の有機農業の現状と方向性(農水省担当予定)  
09:30~12:00 分科会報告・討論 新規就農の取組事例報告と討論  
(昼休み)  
13:00~15:00 日本農業再生を見ずえた有機農業の進め方(討論)

### 【アピールポイント】

- ・新規就農事例の見学、全国の事例交流、課題討論
- ・日本農業再生をめざす有機農業のすすめ方 報告と討論

**【定員】** 100名先着順

**【締切】** 1次 10月31日(2次 11月15日)

**【会場】** 21日 さんぶの森中央会館  
22日 さんぶの森文化ホール  
(千葉県山武市埴谷1904-3)

- ・日時 2013年11月21日(木)~22日(金) 1泊2日
- ・集合 JR総武線八街駅(北口集合) 13:00  
特急しおさい(銚子行) 東京駅11:40発 八街駅着12:30  
(各停) 千葉駅12:15発 八街駅着12:46着  
自家用車で来られる方も八街駅北口集合。バスの後ろについて走ってください。

**【参加費】 13000円**

- ・参加費A 15000円(宿泊・懇親会含む)  
(宿泊費、夕食・懇親会、朝食、マイクロバス経費、会議室利用代、事務費利用代、事務費、通信費、資料代などを 含む)
- ・参加費B 会議のみ参加 5000円
- ・参加費C 会議および懇親会(宿泊なし) 10000円

### 【振込先(11月15日までにお振込ください)】

■郵便局 普通預金 店名 ○○八(せ ぜ っ ち)  
口座: 2249177  
名義: 特定非営利活動法人全国有機農業推進協議会

### 【お申込み】

主催 NPO法人全国有機農業推進協議会  
申し込み 11月全国集会事務局(窓口:「さんぶ野菜ネットワーク」下山) [info@sanbu-yasai.net.or.tv](mailto:info@sanbu-yasai.net.or.tv)  
**Fax: 0475-89-3055** 電話: 0475-89-0590 (080-2208-2525)

### 【以下の情報をFAXにてご送信ください】

(複数名の場合、参加される方すべてのお名前の記載)  
氏名、住所、所属団体名、メールアドレス  
携帯電話番号、希望見学コース(1~3)、宿泊・懇親会有無、自家用車利用の有無、翌日の弁当有無:(追加支払)





# 有機の道も一歩から… 有機農業の面での広がりを目指します！！

## 南島原市有機農業推進協議会 会長 藤原米幸

南島原市は、長崎県の南部に位置する島原半島の南東部にあり、雲仙山麓から南へ広がる肥沃な大地と魚介類豊富な有明海及び橘湾の豊かな自然を背景に、農業や漁業が基幹産業であり、県内でも有数の農業地帯であります。

南島原市における有機農業は、1970～90年代に、化学肥料・化学合成農薬に頼らない農業を目指し、それぞれの農業団体が設立され、有機農業の取り組みが始まりました。以後、各団体（点）での有機農業の取組であったが、2008年の国のモデルタウン事業の開始に伴い、南島原市における有機農業の普及推進（面での広がり）を目指し、「南島原市有機農業推進協議会」を設立し事業に取り組み始めました。

現在、当協議会は、構成する4生産団体及び1生活協同組合と長崎県並びに南島原市との連携・協力のもと、「①有機農業への参画者の育成・確保」、「②有機農業への農業者・消費者等の理解促進」、「③有機農産物の流通・販売促進」、「④有機農業の技術確立」の4つを柱に活動を行っています。

具体的には、「①有機農業への参画者の育成・確保」では、実践講座の開催や有機JAS制度の学習会を開催しました。実践講座では、水田の生き物調査や堆肥づくり、緑肥の活用方法などを学びました。参画希望者のみに限らず、すでに有機農業に取り組んでおられる農家の方からも参考になったとの好評を得ています。

「②有機農業への農業者・消費者等の理解促進」では、生協などを通じお集まりいただいた消費者の方々との意見交換会を開催しました。あわせて実際に有機農産物の試食や生産・収穫体験等を行い、消費者から忌憚のないご意見を聞くことができ、今後の生産・販売活動の参考

にしていきたいと考えています。また、学校給食での有機農産物の利用についても、関係機関との協議を行っています。

「③有機農産物の流通・販売促進」では、有機農産物を使用した料理の試作ならびにレシピ作成を行いました。また、物産フェア等への出展を行い、有機農産物の販売を通じ、有機農業についてのアンケート調査を実施し、消費者ニーズ等を把握しました。

「④有機農業の技術確立」では、所属団体が所有する圃場において、実験的に交信攪乱剤・フェロモン剤を利用した薬剤の効用性および緑肥等を利用した土づくりに関する実証を行っています。

当協議会では、これらの活動を通じ、有機農業の普及・拡大を目指していますが、消費者に対して、なかなか有機農産物への理解が得られにくい、有機農産物が地元でなかなか手に入りにくいといった現状があります。構成員でもある長崎県並びに南島原市に協力をいただきながら、これらの課題をひとつづつクリアしていくことが有機農業の普及・拡大につながると考えています。

今後は、地元での消費拡大・周知にむけて物産フェアの開催や生産技術の向上・普及にむけて視察研修やセミナー・研修会等への参加を積極的に行っていきたいと思えます。



## 全有協からのご案内

### 福島県有機農業ネットワーク主催 ふくしまオーガニックフェスタ開催

日時：11月23日（祝・土）  
場所：郡山ビックパレット

この秋、福島県で有機農家による大収穫祭が開催されます。大震災・原発事故から3年目の福島の農家の現状にふれ、自然との共生と循環型の有機農業をめざす農業者と消費者の顔の見える交流をすすめるための一大イベントです。

放射能とくらしのことをともに考え、福島の復興と再生のため、生産者はじめ新規就農者のネットワークを広げていきましょう。



### ◎全有協イベント情報

●10月20日（日）土と平和の祭典 2013  
今年のテーマは「未来（たね）を守る！」

開場：10：00 終了：17：00

場所：日比谷公園

主催：種まき大作戦 共催：全国有機農業推進協議会

URL：<http://www.tanemaki.jp>

「食と農」をテーマに生産者と消費者が一緒になって農的  
社会を考えるお祭りです。全有協も出展します。

問い合わせ：  
03-5400-2272  
アファス認証センター



2012年 開会式の  
鏡開きのようす

### 自然農法技術交流会、 平成25年度は全国10会場で開催

自然農法技術交流会は、自然農法や有機農業を実践されている方、あるいはそれらをめざす農業者・関係者の方々を対象に、自然農法実施ほ場（実証圃場）の見学や実践報告、技術解説を通して、自然農法（有機農業）技術の基礎的な情報を提供すると共に、参加者相互の情報交流・人的交流を目的として、全国で開催しています。（既に6会場終了）

11月12日 神奈川会場（神奈川県愛川町）  
11月21日 茨城会場（茨城県つくばみらい市）  
12月7日 広島会場（広島県東広島市）  
平成26年1月17日 徳島会場（徳島県勝浦町）

申し込み方法は下記ホームページで申し込み書を印刷して普及部  
技術普及課（0569-89-7642）までファックスして下さい。

[http://www.infrc.or.jp/act/event\\_gi\\_jutsukoryukai2013.html](http://www.infrc.or.jp/act/event_gi_jutsukoryukai2013.html)

### 総理大臣 安倍昭恵夫人が 霜里農場見学会に参加されました

9月14日、安倍晋三内閣総理大臣夫人である安倍昭恵さんが、霜里農場見学会に私的に参加されました。気さくな人柄で、有機農業に深い関心をお持ちとのことでした。



全有協通信 No. 17（発行：2013年9月17日）

発行人 金子美登（発行元 特定非営利活動法人 全国有機農業推進協議会）

住所：〒135-0053 東京都江東区辰巳1-1-34 生活協同組合パルシステム東京辰巳ビル3F

電話：03-6457-0666 FAX：0475-89-3055

Email：info@zenyukyo.or.jp

公式サイト：<http://www.zenyukyo.or.jp>

事業サイト：<http://www.yuki-hirogaru.net>

**[入会・継続をお願いします]**（年会費1口 正会員：個人1万円/団体5万円、賛助会員：個人3千円/団体1万円より）

口座：ゆうちょ銀行振替口座（支店コード：019店）00180-7-687517（当座）

名義：特定非営利活動法人 全国有機農業推進協議会

通信欄に「全有協会費（個人・団体）、口数、お名前、ご連絡先、ご所属等」をお書きください。